

ハングライダー JHF 新技能証規定

【PILOT 証課程】実技

1. **目標** : PILOT 技能証の獲得

単独にてハングライダーを操縦し、サーマルおよびリッジソアリングを含む飛行技術および指定されたエアリアルールや気象条件に適合した飛行を修得する。

2. **練習生** : ハングライダー C 技能証の所有者

3. **練習** : 合計飛行時間 40 時間以上 飛行回数特に制限無し

4. **科目数** : 実技科目 20 科目

5. **実技科目表** :

1. 飛行準備 (機体、装備品、その他の用意と安全確認)
2. フライトプラン
3. 周囲警戒 (空中および地上の安全性確認および他機警戒)
4. 出発およびテイクオフ (周囲警戒、気象判断、出発決心)
5. 180度レイジーエイト (左右各連続2回、上昇・降下、開始・切替・停止の方向一定)
6. 360度連続急旋回 (左右各連続3回、バンク各45度、開始・停止の方向一定)
 - . 180度サイドアプローチ
8. オーバーヘッドアプローチ
 - . 指定地ランディング (指定地点から半径25m以内への着陸)
 - . 360度旋回 (深いバンク・ピッチ最大限)
11. 360度旋回 (最小沈下・緩いバンク)
 - . 旋回飛行中の失速および回復
13. スパイラル降下の回避および回復
 - . 不安定要素のあるコンディションでの飛行 (強めのサーマル等)
 - . リッジソアリング (合計飛行時間4時間以上)
 - . サーマルソアリング (合計飛行時間4時間以上)
17. 場外着陸 (未知の着陸場所への正確なアプローチする)
18. 機体および装備品の点検
19. 機体および装備品の保守・修理
20. パイロット総合科目 G・L・N・OまたはP・I

6. **PILOT 証検定実技試験科目**

- . 360度旋回 (深いバンク・ピッチ最大限)
- . 旋回飛行中の失速および回復 (回復が極度に遅れたり、ふらついた場合は不合格になります)
- . 180度サイドアプローチまたはオーバーヘッドアプローチ
- . 指定地ランディング (指定地点から半径25m以内へのセーフティーランディング)

実技検定日までに、必ず1回の飛行で1時間以上のソアリングをしていることが望ましい。

合格基準 : 上記の試験科目を安定した飛行で行えること。

実技検定は同日に2回連続して受験できます。但し、1回目の検定で危険な行為 (アイトサイド及びツリーランディング含む) をした場合は、その日の2回目の検定は受けられません。もし、高度不足及び気象条件等で無理があると思われる場合は、直ちに検定を放棄し安全なフライトに心がけて下さい。

2回検定を受けた場合の受験料は合格・不合格に関わらず、6,300円が必要です。不合格になった場合は、最低3回の模擬フライトしてから、再度検定を受けて下さい。